

2009 YMCAスノーキャンプ

B副会長 橋本 一実

青少年事業のYMCAスノーキャンプが2月14日・15日の1泊2日で行なわれ、山梨県大泉村の大泉・清里スキー場へ冬晴れの雪山を思いっきり満喫しに行きつきました。今年のキャンプには36名児童生徒の申し込みがあり、大型バス1台を貸切り、大自然の雪の清里に向かいました。出発の朝は4時45分に來の宮駅集合ということもあり、少々寝不足気味でしたが、初スキーの子も達も多く期待に胸を膨らませていたようでした。午前9時には宿泊先でもある大泉・清里スキー場からまつロジに到着、早速着替えていざ出陣!今年温暖化の影響でしょうか、スキーに影響はありませんでしたが例年になく雪が少なく、スキー以外では上着を着なくても平気なほどで冬山とは言うものの例年よりも暖かいキャンプとなりました。スキー教室では経験度別にインストラクターの5名の先生に指導していただき、初心者でも基礎からしっかり教わることができ、2日目には全員が1人で滑れるようになっていました。スキーについては毎年感じますが、子供たちの上達の早さにはビックリ!転んで一人で立ち上がれない子は1人もなく、一緒に滑っていて感心させられるほど短時間での上達をします。もう一つのキャンプの楽しみでもある皆で食べる食事は初日のお昼は定番のカレーライス、夕飯はハンバーグ・アイスクリームのデザート付き、夜食はカップヌードル、2日目の朝食はごはんパンと選択自由でお昼は中華丼、おかわりする子も多く、スキーでいつもよりもお腹が空くようで沢山食べていました。快晴の素晴らしい八ヶ岳をバックに記念撮影!雪だるまを作って記念撮影、多くの思い出が作れたことでしょう。また、今回のスノー教室にあたり、詫間勲会長、青木義美ワイズ、大川貴久ワイズ、深澤勇弘ワイズ、そして青木優子メネットにもお忙しい中ご参加いただき厚くお礼申しあげます。風邪気味で初日のスキー教室後の夜、発熱した生徒が1名いましたが、翌日には熱も下がり一安心、誰一人大きな怪我も無く、無事に沢山お土産を買い、そして、雪焼け顔で沢山のおみやげ話をもって帰路に着きました。



京都パレスクラブ来熱

IBC・BF委員長 深澤勇弘

1月13日に京都パレスの交流委員長吉岡明彦ワイズから來熱したいと連絡が來てから当日の例会までIBC委員長として、緊張感の有る時間を過ごさせていただきました。委員会・全体会・当日の例会と先輩方にアドバイスを頂きながら、計画から、当日の例会・親睦会と次の日の観光を無事に執り行う事が出来ました。委員会・全体会では、六役の皆さん、また各委員長の皆さんに進んで出席していただき、良いアドバイスを貰ったお陰で良い受入準備ができました。当日は迎えに行っていた青少年・外国語委員会の皆さん、会場の設営してくれたプロドラ・CS委員会の皆さん、ありがとうございました。



2次会ではカラオケ合戦と美女のお酌で京都の皆さんが鼻の下を伸ばしている姿を見て心の中でガッツポーズ!親睦委員会の皆さんありがとうございました。観光では前の日が遅かったにもかかわらず多数の皆さんに出席していただきました。梅は少し時季が過ぎていましたが足湯や整備された梅園で楽しまれたことと思います。広報・EMC委員会の皆さん、観光案内ありがとうございました。また書記、会計の皆さんには一連を通して見ていただき感謝しています。最後にIBC委員の皆さん、頼りない委員長を支えてくれてありがとう!ワイズの絆に感謝です!!



甲子園出場おめでとう!

この度、当クラブ会員、森重男君のお孫さん森厚太君が早稲田実業高校から甲子園に出場することになりました。早稲田、慶応の同時出場で盛り上がり予想される今大会、地元が生んだスラッガーの活躍に大きな期待が寄せられています。森君に熱いメッセージをどしどし寄せてください。